

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の一心、全心的、持続 (42)「地域産業人の祝福」(使1:8)</p>	<p>聖日1講: 真の主人に出会うことが救い (エペソ1:20-23)</p>	<p>聖日2講: 真の信徒が受けた三つの保証 (エペソ2:1-10)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の一心、全心的、持続 (42)「伝道者の指導力」</p>
<p>1. 私のただを見つけない 1) 使1:1, 3, 8 2) 使1:14 3) 使2:1</p> <p>2. 教会のただを見つけない 1) 使2:1-4 2) 使2:5-11 3) 使2:42 4) 使2:43-45 5) 使2:46-47</p> <p>3. 現場のただを見つけない 1) 使2:41 2) 使6:1 3) 使11:19</p>	<p>* 序論 ▲大部分のキリスト教徒が、なぜ答えを受けられずにいるのだろうか。聖書を見れば、神様はモーセに時代を変える答えを与えられた。必ず捜し出さなければならぬ。だめな理由が何か。私が主人であるためだ。私が主人ならば、一生の間、戦って問題が近づいて死んでサタンに捕えられるようになる。宗教が多いように見えるが一つだ。「私」だ。ところで、私ではない。福音は主人を変えるのだ。これが聖書で教える最も重要な教理で、教えた。この福音を全世界に、全次世代に伝えなければならぬ。</p> <p>▲洗礼式は主人が変わる日だ。私の主人が私ではなくて、人ではなくて、神様が私の主人になるのだ。本当に答えがきて、本当に人が変わって根本問題が解決される。今日3つの契約を握りなさい。</p> <p>1.エペソ1:21、世の中の主人であるサタンの手から抜け出して、キリストに私の主人を変えない。 ▲すべての権威を持った方が、あなたの主人になるように人生を変えないということがエペソ1:21節だ。 1)聖書の重要な問題と事件 (1)創世記3章の事件-あなたがこの善悪の知識の木の果を取って食べる瞬間、サタンに捕えられた。 (2)創世記6章事件-私の人生は私の思いのままにして、終わりにく墮落してサタンに捕えられてしまった。 (3)創世記11章事件-神様が不要ないバベルの塔を築いたが、完全にサタンに捕えられてしまったのだ。 ▲地球上に宗教は二つしかない。私が主人か、神様が主人かだ。 2)だから使徒13章、16章、19章の結果になるのだ。 3)個人の未信者状態6つ-ヨハネ8:44 あなたがたの父である悪魔にずっと引きずられて行くのだ。そこから抜け出しなさい。主人を変えないといふことだ。 2.エペソ1:22、私の人生のまことの主人が変わる日、神様の働きが始まる。 ▲22節、今日、みなさんがまことの主人が変わる日、万物の権威を持った方が教会の頭とされた。 1)創世記3:15、主人を変える日、女の子孫が蛇の頭を踏み砕く。 創世記6:14、箱舟の中に入れてくれば生きようになる。 出3:18、羊の血を塗る日解放される。 イザヤ7:14、処女がみこもって男の子を産む。その名前をインマヌエルとしなさい。 2)三位一体の神様が私の主人になる日 3)20-22節の祝福をください。 3.エペソ1:23、私の実際の生活の中でキリストが主人になれば来る答えを受けなさい。 ▲23節、みなさんの実際の生活の中でキリストが主人になれば、満たされた生活になる。世の終わりまで神様がともにいると約束された。みなさんの人生、みなさんの教会を神様が責任を負われる。</p> <p>* 結論 1)アブラハム、モーセ、ダビデ、エリヤ-私が主人になった時は、できることがないのだ。しかし、ある日、人生の主人を変えたとき、神様のみわざが始まって、人間の最も大きい祝福を回復するのだ。 2)今日、本当に答えを受ける祝福が始まることを希望する。未信者を生かす祝福が始まる。みなさんがそのような祝福を受けた人として招かれた。</p>	<p>* 序論 ▲神様の人は答えがあっても、なくても関係がない。すでに3つの神様の祝福、答えをみな受けただめだ。すでに私たちは神の子どもで成功したので、答えを受けず味わえば良い。主人変われば終わるのだ。 1)私が主人になるときは、創世記3:5、創世記6:4-5、創世記11:1-8の問題から抜け出せない。三位一体の神様が私の主人になる瞬間に、大きい答えは始まるのだ。悟りさえすればよい。 2)使徒13章シャーマニズム、使徒16章占い、使徒19章偶像-主人が変わらないと、このようにサタンのお手伝いをするしかない。 3)だから、ヨハネ8:44あなたがたの父である悪魔、出20:3-5偶像崇拜、マタイ11:25精神病、使徒8:4-8肉体の病氣、マタイ27:25次世代に呪いの伝達、ルカ16:19-31永遠に地獄の中で死ぬようになる。 ▲難しいのではなく、悟りさえすれば12の呪いから抜け出すようになる。神様が貴重なみなさんをなぜ呼ばれたのか。 1.神様がみなさんに明らかな計画を与えられた。 ▲12の人生の問題をなくするが神様の計画だ。人間を掌握しているサタンを変えるのが神様の計画だ。 1)レムナント7人は、偶像崇拜、霊的問題から打ち砕いて、サタンもたらす12の人生問題を防いだ。 2)ペブル11:38、こういう人が出てくるしかない。 3)パウロのような人が出てくるしかない。 2.神様の計画の内容 1)エペソ2、罪過と罪で死んでいたあなたがたを生かされた-過去問題の解決 2)エペソ2、福音は現在問題の解決だ。 3)エペソ26、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださった-未来問題の解決 ▲福音の内容だ。何の心配もなくてかまわない。神の子どもになれば、祈れればよくて、証人としてキリストとともに味わって、神の国に行くのだ。 3.神様の計画の証拠(根拠)エペソ2:8) 1)8節-このとても大きな祝福は、神様の恵みでくださったのだ。賜物だと言われた。 2)9節-他の功勞で救いを得るのではない。(行ないによるのではなく、行ないに歩むように、その良い行ないをあらかじめ備えてくださったのです。) * 結論-エペソ2:7.祝福を受けるうつつ準備 ▲祝福を受けるうつつを準備しなさい。一つしかない。信仰を準備しなさい。徹夜祈りの時、全教会の信徒が出てきて深い祈りをしなさい。祈り準備をしなさい。正しい福音の中で深い祈り入るとき、どんなことが行われるのか体験しなければならぬ。うつつを準備しなさい。(詩81:10あなたの口を大きく開けよ。わたしがそれを満たそう。)切実な祈りの課題が一つある。エリートのパウロのような人物一人出てくるから、世の中がひっくり返るのだ。パウロのように、まことのエリートが出てこなければならぬ。</p>	<p>1. 全体を見ると - 答え 1) ビリ1:9-10 2) ロマ16:25-27 3) 使1:8 2. 天命を見ると - 召命、使命 1) 使1:3 2) 使1:14 3) 使2:1 3. システムを見ると - 一心、全心的、持続 1) 使1:14 2) 使2:9-11 3) 使2:41 4. 備えられた者を見ると - 揺れなかった (使13:48) 5. 弟子を見ると - 執着、動機、崩れる (ロマ16:25-27)</p> <p>地域(区)或教材 45課: このように感謝しなさい(詩104:5)</p> <p>▲使徒パウロは、終わりのときになれば、人々から現れる特徴を次の通り語りました。「そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神がけがする者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者となり、(Ⅱテモテ3:2)現代人の特徴の中の一つは、感謝がなくなったこと。人々は喜びと感謝を味わいながら生きるよりは、激しい競争とストレス、激しい疲労と緊張を感ぜながら生きていきます。まことに残念なことではないです。しかし、感謝があれば、人生が活気に満ちて豊かになります。感謝すれば、ない中でも私たちの心が見えます。しかし、感謝しなければ、私たちの人生に物質が豊かで裕福でも、その人生が暗くなるしかありません。感謝しなければ、私たちの心が干からびて溜ってしまいます。幸せを感じられません。したがって、私たちの信徒は、自分の人生の幸せのために、常に感謝する心で生きていくことを努力しなければなりません。それは、どのように感謝する中にあるべきかを実践できるのでしょうか。</p> <p>1.先に感謝する言葉がなければなりません。 ▲人が崩れるときは、先にその言葉が崩れるのを見ることが出来ます。誰でも言葉が崩れば、人格や信仰、健康、倫理、道徳、ときには家庭や事業さえ崩れるようになります。反対に、言葉が立てられれば、すべてのことが立てられ始めます。なぜなら、神様は私たちの言う言葉が自分の耳に聞こえたとき、動かされる方だからです。「あなたは彼らに言え。これは主の御告げである。わたしは生きています。わたしは必ずあなたがたに、わたしの目に告げたそのとおりをしよう。」(民14:28)彼らが言う言葉の中には、私たちが立てる言葉もあって、崩れさせる言葉もあります。したがって、語をする時は、私たちの人生を倒す否定的な話りも、肯定的な話りをしなければなりません。その中で「感謝します」という言葉が最も必要な言葉です。感謝は、話す時からはじめて始まり、感じられて、あらわれて、伝えられるためです。それで詩篇の記者は「私は、この口をもって、大いに主に感謝します。」と語ります。</p> <p>2.感謝する心がなければなりません。 ▲多くの現代人は、心にまことの幸せを感じる事ができなくて生きていきます。心の中に感謝がないためです。こういう人々の心は、いつも干からびています。そのような人々は、簡単にうつ状態と倦怠に陥るようになります。幸せは感謝する心から入ってきて、不平を言う心から抜け出ます。誰でも感謝する心を持てば、祝福の通路を成し遂げるようになります。ですから、感謝する人はいつも誰でも幸せなことがあるのです。どのホテルに行っても、そのホテルの鍵は決まらずドアの柄には他のドアをあけられません。しかし、ホテルの支那人が持っている鍵が一つあるのですが、その鍵はマスターキーです。そのマスターキー一つだけあれば、そのホテルがあるすべてのドアをみな開けるのです。「黄金の口を持った聖者」という別稱を受けた説教者クリストモスが言うのと同じ感謝する人は祝福の鍵を握った人だと語ります。私がたを極めておられる神様は、私たちに私たちのすべての祝福と幸せのドアをあけられるマスターキー一つ与えてくださりましたが、それがまさに「感謝する心」です。</p> <p>3.すべてのことについて感謝する生活の美しければなりません。 ▲みなさんは、何を持って感謝しますか。事業がうまくいって感謝しますか。子どもがうまくいって感謝しますか。健康から感謝しますか。健康から感謝しますか。何か私がかなされたことに対して感謝していませんか。それなら、これは反対に、これらすべてのものが消え去る時どのようにしますか。恨みますか。不平を言いながら、世を嘆きますか。私たちがクリスチャンは、一般の人々の人々とは違った感謝の条件がなければなりません。それは、すべてのことについて感謝する生活です。共産主義国家は社会主義の特徴があります。</p> <p>▲最初、彼らは全部生きられないことで、二つ目彼らには感謝がないという事実です。彼らにはどの場合にも感謝するといふ語をしません。彼らはいつも自分が貧しいのは、金持の搾取のためであり、私が生きられないのは良暮らしをする人のためと考えます。彼らの思想は、誤ったことでぎっしり埋まっています。全土のことがみな他人のせいだと考えます。それで、彼らは継続して革命と闘争を通して失ったものなどを勝ち取ろうと奮戦を願います。したがって、彼らは祝福を受けることもできなくて、幸せなはずありません。私たちの層から感謝が戻って、うらみと不平が癒やれてきたとすれば、これはたしかに、私たちの信仰-赤信号がきたという信号です。私たちがは干二つ、万二つ、イエスの功勞で救われて神様ご拝する神の子どもになったという一つの事実だけでも、いつも感謝しなければなりません。したがって、私たちの信仰はすべてこのこと感謝することは、日常の習慣にならないければなりません。感謝する心は信仰の結実です</p> <p>▲今日、詩篇の記者は、本文で感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、入れ、主に感謝し、御名をほめたえよと歌っています。世の中で最も大事なこと、それはまさに感謝する心です。みなさんの人生がいつも感謝の言葉とし、実があるように願います。</p>
<p>核心メッセージ: RUTC時代の伝道者の生活の一心、全心的、持続 (42)「40日の始まり - エリコの町」(ヨシ6:1-20)</p>			
<p>序論 1. エリコは崩れなければならない 2. エリコが崩れることは、神様の計画 3. エリコはすでに陥落</p> <p>本論 1. カナンに伝えられる神様の証拠 (ヨシ6:1-2) 1) イスラエルのうわさで既に閉ざされた城門 2) 指導者たちが逃げた 3) 主の約束 (ヨシ6:2)</p> <p>2. 必ず体験すべきその現場 1) 町を回りなさい (ヨシ6:3) 2) 武装した者たちは前を (ヨシ6:7) 3) ことばが要らない理由 (ヨシ6:10)</p> <p>3. より大きな未来のための事件 1) 私欲を捨てること (ヨシ6:18-21) 2) 二人の偵察人の契約は永遠 (ヨシ6:22-24) 3) 遊女ラハブの契約は永遠 (ヨシ6:25-27)</p> <p>結論 - エリコの隠れた主役 (ラハブ)</p>			

週間メッセージの流れ (2014.11.2.-2014.11.8)

(1) 聖日1部(11月2日)→ 数年の内に起きる事件 (エペソ1:1-5)

イエス・キリストの中にある恵みと平安が、今日も私の生活をおさめてくださっていることを感謝します。すべてを終わらせてくださったキリストによって、私の運命が完全に変わった事実を味わうようにさせてくださり、キリストの充分さ、完全さ、その中にあるすべての祝福を味わえますように。キリストにあって変わった私の身分を確認して、聖霊で証印を押された霊的な祝福、新しい祝福を味わえますように。救われた私のために準備しておかれた天と地の祝福を味わいながら、神様に栄光を帰す生活になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(11月2日)→ 私たちの祈りの内容 (エペソ1:17-19)

私が主人になった宗教生活でなく、神様が主人になった信仰生活で、いつもインマヌエルを体験することができることを感謝します。神様が私の主人になったこの体験を持って、世の中を生かす祈りで、歩みごとに神様の導きを受けることができますように。神様を知って、その召しによって与えられる望みとその受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、神様が与えてくださる力がどれほど偉大なものであるかを知って、私と家族を生かす祈りを味わうことができますように。集中祈りの中で霊界を生かす三位一体の神様の力と、霊的事実を味わいながら、サミットの位置に立つようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(11月2日)→ 地域(区域)教材44課:感謝できる人(コロサイ3:15-17)

▲必ず重職者は3つのことを探し出さない根(聖霊の満たし)+再創造(キリスト-24時)+成功方法(みことば+計画/みことば確認/フォーラム)→感謝が出てくるようになる。

- ①パウロが所有した信仰-使徒9:10、使徒9:15、ピリピ3:20→これがパウロのはじまりと終わりだった。
- ②パウロの目-災い時代を防ぐ証人、IIコリント12:1-10、使徒27:24の証人
- ③パウロの謙そん-IIコリント12:9-10、ピリピ3:2-20、ローマ16:25-27→神様の恵み
- ④結論-まことの感謝が出てくれればやしが起きて、他の人を変化させるようになる。そして、これから極めてより大きい恵みがあるので、苦難も感謝するようになる。

(4) 駐韓海外使者集い(11月2日)→ 伝道者が常に見ること

- ①根を見て、根を変えてあげなさい-国家、現場、個人の根
- ②再創造のポイントを探し出さない-使徒1:3(9種類-広さ/深く/高さ、上/下/横の人、過去/現在/未来)+使徒1:14(天命)+使徒2:9-11(システム)+使徒2:41(予備された者)+使徒6:1-7(絶対弟子)
- ③方法-神様の計画を探しなさい+みことばを確認しなさい+みことば運動が起きなければならない。

(5) テキコの集い(11月2日)→ 根、ミッション、成功方法

- ①根からおろしなさい-はじめて終わり+福音の根/祈りの根/伝道の根/いやしが起きる。
- ②再創造のミッションで世界を征服することができる(IIコリント5:17)-再創造のポイントを見なさい(重要な答えを探しなさい)+天命が見られる(神様のみこころ発見)+システムが出てくる+予備(神様が備えられたことが出てくる)+弟子(その中に弟子がいる)
- ③成功方法を探しなさい-神様の計画から確認しなさい(9つ-広さ/深く/高さ、上/下/左右、過去/現在/未来)+みことば確認(フォーラム)+みことば成就(まことの成功-進行)

(6) ウルサン地域集中伝道集会(11月4日)→

▲1講:福音運動

- ①序論-福音運動とは、私の中に長い間下されて滅びるしかない根、刻印、体質をキリストのなかで9つの羅針盤を持って変えるのだ。(9種類羅針盤-広さ/深く/高さ、上/下/左右、過去/現在/未来)
- ②刻印が変わる日、私の人生が新しい人生になる-創世記13:14-18、創世記22:1-20、出3:1-20、出5:1-12:46、ダビデ、エリシャ、使徒1:1, 3, 8、使徒9:1-15
- ③福音に根を下ろす日、私の人生に奇跡が起こる-ピリピ3:1-20, 21、レムナント7人、ヘブル11章の人々、初代教会、教会史の人物
- ④福音で体質になれば、すべてを変える三つのいやしが起きる-個人いやし、出会いのいやし、現場のいやし
- ⑤結論-それではWITH(ともに)+使徒1:3, 14、使徒2:42+みなさん1, 2人だけでもできるという結論が出てくるようになる。

▲2講:伝道運動

- ①序論-イエス・キリストを説明するのが伝道ならば、伝道運動は福音を伝えることを持って再創造の働きを成し遂げ

るのだ。神様がくださった最も大きい祝福だ。

- ②伝道運動の再創造のポイントを見なさい-だめなこと(事実で見なさい)+他の人が見えないことを見るようになる(霊的な目)+他の人が行かないところに行くようになる(内面世界)
- ③再創造のポイント5つ-使徒1:3(神の国)+使徒1:14(マルコの屋上の間-天命)+使徒2:9-11(15ヶ国の門-システム)+使徒2:41(備えられた者)+使徒6:1-7(絶対弟子)
- ④再創造の時計をはめれば全体(使徒1:8)+未来(使徒2:17-18)+永遠(ローマ16:25-27)が見え始める。

▲3講:祈り運動

- ①序論-祈り運動とは、ただを分かる者に神様がくださる約束だ。ただという答えを分かる者に聖霊の働きをくださった、すべてを生かすのだ。(ただイエス+ただ聖霊+ただ証人)
- ②オリーブ山(過去の答え)-三位一体の神様が私とともにおられ、私のすべての過去を土台にされて、今、私が受けた祝福は神の国を成し遂げるのだ。
- ③マルコの屋上の間(現在の答え)-5つの門、5つの力、5つの時刻表がある。必ず神様の計画なのか。神様の時刻表はいつかを尋ねなさい+そして、みことばを確認してフォーラムしなさい+私の仕事(事業)の中にみことば成就が起きなければならない。
- ④これを体験するのが祈り運動だ-使徒11:19、使徒13:1、使徒19:21、IIペテロ3:8、ローマ16:25-27体験
- ⑤結論-これを持ってどこでも生き残るように個人化しなさい。(弟子)

▲予備地教会働き人の集い:

- ①必要なことだけしなさい-しないこととすること区分、重要なことをしなさい。
- ②伝道旅程が必要だ-私、教会、現場に行ったとき、どのように伝道するのか旅程がなければならない。そして、他の人にも伝道旅程を教えなさい。
- ③神様が必ず必要とする絶対的なこと-福祉、塾、地域児童センター、幼稚園

(7) 産業宣教(11月8日)→ 伝道者の生活の一心、全心、持続(42)-地域産業人の祝福(使徒1:8)

- ▲使徒1:8、伝道者はいつも普遍性と客観性を考えなければならない。ところで、ただと集中をのがしてはいけない。そうすれば、唯一性の答えがくる。
- ①私のただを見つけない(天命一心、召命-全心、使命-持続)→使徒1:1, 3, 8, 14、使徒2:1
 - ②教会のただを見つけない→使徒2:1-4力の体験、5-11システム、42礼拝の祝福、43-45献金、46-47みことば成就(現場)
 - ③現場のただを見つけない→いつも先に高さ/深く/広さ+上/下/横+過去/現在/未来を見なさい。ここで現場のただが見える→使徒2:41、使徒6:1-7、使徒11:19が起きる。
 - ④結論-他の福音(反キリスト)を持ってはだめだ。キリストにただ!

(8) 伝道学(11月8日)→ 伝道者の指導力(福音運動+伝道運動+祈り運動)

(9) 核心訓練(11月8日)→ 伝道者の生活の一心、全心、持続(42)-40日の開始-エリコ(ヨシュア6:1-20)

- ▲私の人生をどのように変えるのか。問題に会った時どのようにするのか。いつも3つを持って見なさい→福音運動(根/刻印/体質を変えなさい)+伝道運動(再創造の働きを体験)+祈り運動(カナン征服した準備-祈りの力をそえなさい)
- ①カナンの地の中に神様の力が伝えられなければならない(ヨシュア6:1-2)
 - ②イスラエル民族が必ず体験しなければならない現場だ。(ヨシュア6:3, 6:7, 6:10)
 - ③より大きい未来のために-ヨシュア6:18-21, 6:22-24, 6:25-27。
 - ④結論-エリコが崩れる流れに乗りなさい+不可能に挑戦しなさい(再創造)+カナンに変化が起きることを準備しなさい。(私たちが神様の契約を握ればすべての所に答えがくる)

(10) 地域(区域)教材(11月8日)→ 45課:このように感謝しなさい(詩100:4-5)